

八王子消化器病院ニュース

おおり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS

第31号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関・東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL : 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株) 教育広報社



病院診療と節電対策

八王子消化器病院
理事長

鈴木 衛

3月11日に発生しました東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の大災害を引き起こしました。地震から早4ヶ月が経過しました現在も地震で被害を受けた多くの方々が避難生活を余儀なくされ、不自由な毎日を送られています。また、福島原子力発電所事故による周辺住民の方も放射線障害の危険から避難を強いられています。被災者の皆様にお見舞いと、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

皆様もご存知の通り、震災後3月下旬にかけ東京電力管内の関東全域に計画停電が実施されました。当院の医療活動も制限され、患者様に多大なご迷惑をおかけしました。その後、制限は解除されましたが電力消費量の増加が予想されるこの夏場にかけて電力会社から一般企業のみならず医療機関に対しても一層の節電努力が要請されました。医療機関にとつて電力は必要不可欠なライフラインであります。社会活動全体の維持に必要であれば医療施設も節電に協力する責任があります。3月に実施されました計画停電時と同様に医療活動の制限が懸念されますが、皆様のご協力と病院職員の努力で、不自由で制約の多い医療現場でも安全に最大限の配慮を払いつつ診療活動を継続していく所存です。

3月11日に発生しました東日本大震災は、東北地方を中心に未曾有の大災害を引き起こしました。地震から早4ヶ月が経過しました現在も地震で被害を受けた多くの方々が避難生活を余儀なくされ、不自由な毎日を送られています。また、福島原子力発電所事故による周辺住民の方も放射線障害の危険から避難を強いられています。被災者の皆様にお見舞いと、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

使用禁止、電子カルテの使用制限、医療行為が行われない場所の消灯などを行い電力消費を抑えます。これらの措置にも拘らず停電が実施された場合は、自家発電装置が瞬時に起動し、手術室、病棟回復室をはじめ各検査室に非常用電力が供給され患者様の安全を確保致します。

当院では今回の大震災を機に公共財としてのエネルギーに対する考え方について真剣な討議を行ってまいりました。その一環として本年8月11日から13日までの3日間、昭和58年の開院以来初めてとなる病院の外来業務を休止させていただきます。これは夏本番で気温上昇が予想される時期に外来診察と検査を休止し、病院全体の消費電力を減らし被災地への復旧に向け協力する目的であります。大量の電力を消費する大工場が行う節電休業に比べるとわずかな協力行為ではありますが、1ヶ月の診療日数の十分の一を休業することで節電へ協力いたします。この間、病院職員は病棟勤務の看護師、栄養科、一部の事務職を除き休業となりますが、3日間の休業は職員への単なる夏期休暇ではありません。この間に各人が個人として社会に貢献できることは何か、自分は何をすべきかを見つめ直す機会として考えることを求めました。そして、内容・期間を問わず病院の内外で自分のできる具体的な行動を起こすよう課題を与えました。

以上、当院の節電に対する考え方について述べさせていただきます。病院職員としての日常業務を行いながら医療活動以外の社会貢献も促し、今回の東日本大震災で被害を受けられた東北地方の方々に病院を挙げて援助と応援を続けていく所存であります。



大腸疾患の 診断と治療について

八王子消化器病院 副院長

武雄 康悦

本年 4 月に副院長を拝名しました。

1987 年に消化器内科医として当院へ赴任し、早 25 年目になります。当院の前身である中山記念胃腸科病院時代から大腸内視鏡検査を中心に大腸疾患の診断と治療を行ってまいりました。今回は私の専門分野であります大腸疾患に対する大腸内視鏡検査について当院で実際に行っている診断方法と治療について紹介させていただきます。

昨今、日本人の生活習慣の欧米化が進み、従来、日本人には稀であった大腸疾患が急激に増加しております。大腸疾患は、急性大腸炎をはじめとする炎症性の病気と大腸ポリープや大腸癌など腫瘍性の病気に大きく二つに分けられます。炎症性の大腸疾患である大腸憩室炎や大腸憩室出血、虚血性大腸炎、潰瘍性大腸炎などとともに、腫瘍性の疾患である大腸ポリープや大腸癌患者も近年著しく増加しております。

大腸疾患の症状としては腹痛、腹満感、便通障害などがありますが、とりわけ特徴的な症状として肛門からの出血があります。肛門から大量の出血をみるもの

から、排便後に少量の血液がトイレトペーパーに付着する程度の場合、あるいは検診やドックの便潜血検査で陽性反応を指摘されるものまで様々あります。いずれかの症状や所見が見られる場合には大腸の検査が必要です。

通常行われている大腸疾患の精密な検査方法として、バリウム検査である注腸造影検査と大腸内視鏡検査があります。当院で年間に行われる注腸造影検査は約 2,600 件で、後者の大腸内視鏡検査は約 3,600 件です。注腸検査は肛門からバリウムを注入し、その後、大腸内に空気を注入し大腸の病変を検査します。注腸造影検査に要する時間は 20〜30 分です。検査の前日に大腸内の便を少なくする特別な食事と下剤を飲んで検査の準備をします。検査当日は外来で検査を受けていただき、検査後に担当医師より検査結果の説明を受けます。通常は検査のための入院は必要ありません。

もうひとつの大腸検査である大腸内視鏡検査も前日に大腸内の便を少なくする特別な食事と下剤を飲んで検査の準備をします。さらに検査当日にも大腸内の便

を排出するため約 2 リットルの液体をゆつくり服用していただき、大腸内に便が残っていないことを確認してから検査を実施します。大腸内視鏡検査に要する時間は通常 30 分前後であります。大腸の長い方（結腸過長症といいます）、大腸に強い癒着がある方（腹部手術既往のある方）では検査時間が長くなる場合があります。大腸内視鏡検査は、苦しい検査であるとの印象が強いですが、大腸の長い方や腹部手術既往のある方では、カメラが大腸内で移動する際に大腸自体が引っ張られ疼痛を感じることがあります。当院ではこのように強い苦痛を感じられる方には、検査実施時に睡眠導入剤を点滴で投与する意識下鎮静麻酔を行っています。大腸内視鏡検査で意識下鎮静麻酔を受ける際は、検査後に入院をしていただくこととなりますので、担当医師にご相談ください。

大腸癌を寄せつけないために

1. **動物性の脂肪を摂りすぎない**
牛肉、豚肉、鶏肉の皮など
2. **食物繊維をたくさん摂る**
きのこ類、緑黄色野菜、根菜、いも類、豆類、海藻類など
3. **適度な運動をする**
毎日、30 分以上のウォーキングなど
4. **便秘をしない**
牛乳、ヨーグルト、水分をしっかりと摂る

最後に私の専門であります大腸内視鏡検査医として大腸ポリープの治療についての考えを述べさせていただきます。

大腸に発生するポリープの大部分は、大腸癌へ変化する腫瘍性ポリープであります。ポリープの大きさが 10 mm を超えるとポリープの表面に癌細胞がみられることがあります。このため大腸内視鏡検査中にポリープがみられましたら、小さなポリープであれば細胞の検査（組織生検）を行います。5 mm 以上のポリープの場合はポリープの摘除を行う必要があります。摘除したポリープの組織検査で腺腫性（腫瘍性）ポリープと診断されたら、1 年後も大腸内視鏡検査を受け、再度ポリープがみられましたらその場でポリペクトミー（内視鏡的ポリープ切除術）による治療を受けることが必要です。

ポリープが癌に進展した場合でも早期大腸癌であれば、大腸内視鏡下粘膜切除術で癌病巣の完全な切除（根治的治療）が可能であることも多く、開腹手術を受けることなく早期大腸癌の根治的治療が得られます。大腸ポリープが良性であるうちに大腸内視鏡検査で摘除をうけることは、大腸癌で開腹外科手術を受けることなく、大腸癌で命を落とすこともない唯一かつ有効な癌予防法であります。

患者様とごころ

八王子市
子安町在住

秋山 秀子さん



六年前に他界しました夫は最期を八王子消化器病院で過ごさせて頂きました。夫の部屋を整理してありましたら「患者様とごころ」と言う原稿が見つかり、夫の気持ちを知って頂きたくて久野事務長にお渡ししておきましたところ、七回忌を迎えるのを期に是非「おおるり」に載せたいとお話を頂きました。

消化器病院とのご縁は羽生先生と夫が東京陸軍幼年学校(現八王子市長房)出身ということでした。我が家の子安町に引越して参りました数年後に偶然お会いしてから親交を深めさせて頂きました。

夫が肺癌の告知を受けたのは平成十六年でした。羽生先生にご相談したところ肺癌では権威の教授をご紹介下さり都内の病院で手術を受けました。数日後羽生先生がお見舞いに来て下さると知った教授が「赤ジュウタンを敷いてお迎えしなければ」

と緊張した様子に「羽生先生ですぞい方なのね」と話し合っただけで思い出されず。

その後、恐れていた癌の転移により入院を繰り返す事になるので、出来ることなら自宅近くの病院で過ごしたいとの希望を快く受け入れて頂き、消化器病院の先生・看護師さんの手厚い看護の下、最期を迎えることが出来ました。

窓から我が家を見ることが出来る病室での日々が本人にどれだけ安らぎを与えて下さったことかと有り難く心から感謝しております。

天国で羽生先生と再会し、好きなお酒を酌み交わしているのではと空を見上げたりしています。

消化器病院が地域に根ざし、住民にとって信頼できる病院であり続けて下さいますようお願いしております。



日本語は美しい言葉にたくさん出会います。それも耳にして美しいと感じるのは心がこもっているからです。

日本語が乱れていると言われるから久しくなりますが、若い人の使う流行語や仲間内言葉が年配者の耳に馴染まないこともあります。でも言葉は時代とともに変化するのです。

「だらしない」という言葉をおかしい間違っていると思う人はいないでしょう。しかし江戸時代までは「しだらなし」でした。人気の役者が洒落で逆さ言葉にして「だらしなし」と言ったところ大受けして広まり、やがては「しだらない」は死語となり現在は「ふしだら」しか残らなくなりました。

数年前から東海大学医学部に



秋山邦博さん 略歴

昭和 7年	杉並にて誕生
昭和 19年	第一山水中学(現桐朋中学)入学
昭和 20年	東京陸軍幼年学校入学
昭和 26年	東京外国語大学入学
昭和 31年	同大卒業 NHKにアナウンサーとして入局
昭和 51~53年	朝の番組「奥さんご一緒に」司会
昭和 61年	アナウンス室長
昭和 63年	NHK 退職 (株)NHK 放送情報サービス取締役
平成 2年	(株)NHK 情報ネットワーク専務
平成 17年	メディア本部長 逝去

話し言葉の講座ができました。当初「なんで医者になるのに言葉の勉強か」と思った学生が多かったと聞きました。彼等もやがてはきつと医療の現場で、患者は医師の一言一言をどんなに真剣に受け止めようとしているかを実感することになるでしょう。

私の家族が大病院で手術を受けたことがありました。外科部長の言葉。「こんな難しい手術はこれまでしたこともないよ」聞いた家族の不安がどれだけ大きくなったかは言うまでもありません。

癌の患者に「この薬は効かないかもしれないけど一応使ってみましょう。」と言われれば、まづ効き目はうすくなるに違いありません。医師は正確に告知する義務があり、効くと言って効

かなかったら、今の時代、後々問題になっては困ると言うこともあるでしょう。

若い頃は病気とは縁がなかった私も、70才を過ぎて肺癌になり幾つかの病院のお世話になっています。その病院が良いか悪いかは、勿論その病院の医師たちの医療技術の善し悪しが一番でしょう。それが分かる筈もない私にとっては、良い病院とは医師も看護師も「ため口」を使わない病院です。若いスタッフが年配の患者に「そうだよ」などと同年輩なみに話しているのを耳にするのはいい気持ちではありません。

最近どこの病院でも「患者さん」が「患者様」に格上げされました。患者にとつては「先生様」とでも言いたいくらい頼りにし尊敬している医師から言われればそれは嬉しいことです。でもそれが言葉だけで心がこもっていないければ何の意味もありません。

八王子消化器病院に入院してみても、理事長や院長の言葉どおり「患者様の病院」を実感して嬉しくなりました。私もホスピスはこんな病院で迎えられたらとその時思ったのです。

平成十七年九月



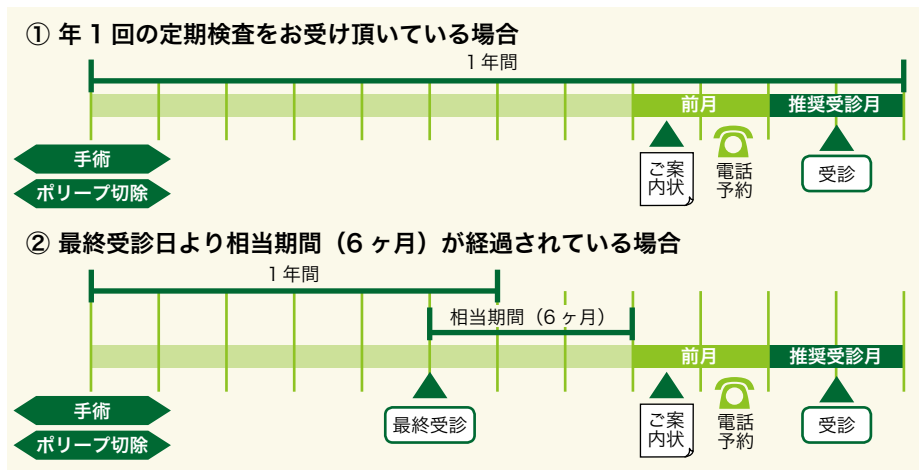
『定期受診・検査のご案内状』の送付について

病診連携室 室長 大津 行博

本誌 24 号でご紹介をさせて頂きました『定期受診・検査のご案内状』も運用開始から 4 年を経過致しました。「案内状が届く度に今年も忘れずに検査を受けようと思う」「しばらく通院していなくても病院とどこかで繋がっている感じがして安心する」など、お褒めの言葉を頂いております。現在までに約 3,000 通のご案内状をお送りして、多くの患者様に再度の受診をして頂いております。今回は改正点も含めまして、改めて本制度のご案内をさせていただきます。

当院では「手術」または「大腸内視鏡的ポリープ切除」をお受け頂いてから相当期間が経過された方を対象として、受診時期をご案内致しております。ご案内状が届きましたら、かかりつけ医の先生にご相談頂くかまたは当院を受診されることをお勧め致します。

疾病の早期発見・早期治療には、少なくとも年 1 回の定期検診が必要とされております。このご案内状を通して、患者様の健康で充実した生活のお手伝いが出来たら幸いです。



【対象者】

当院で「手術」または「大腸内視鏡的ポリープ切除」をお受け頂いた方で

- ①年 1 回の定期検査をお受け頂いている場合
- ②最終受診日より相当期間 (6 ヶ月) が経過されている場合

【ご家族・ご友人の紹介について】

ご家族・ご友人に消化器疾患の検査・治療をご希望の方がおられましたら、同封の用紙により受診をお勧め致しますようお願い致します。

ご紹介患者様をお待たせしないようにと努めておりますが、診察の混雑状況によりご不便をおかけしてしまうことがあります。

待ち時間短縮のために事前のカルテ作成・受付をさせていただきます。

【診察予約電話 ご家族・ご友人紹介窓口】

病診連携室 (直通) 070-6569-3913
または 042-626-5111 (代表)

月～金 9:00～17:00
土 9:00～13:30

*ご案内状をお持ちである旨をお伝えください。

【受診までの手順】

- ①案内状の送付
推奨受診月の前月までのご案内状をお送り致します。
- ②電話での診察予約
「病診連携室」でお電話での診察予約をお受け致します。ご希望の日程・医師を確認のうえ、診察日を決めさせていただきます。
*検査のご予約は、お電話ではお受け致しておりません。
*指定する医師によっては、診察をお待たせしてしまう可能性があります。
初回診察時は医師の指定をされず、検査後結果説明の際に医師を指定されることをお勧め致します。
- ③診察日の手続き
下記の書類をお持ちのうえ「1 階総合受付」にお越しください。
●ご案内状 ●診察券 ●保険証
●問診表 (ご案内状に同封させていただきますので事前にご記入ください)
●服用中のお薬またはお薬手帳・説明書など (他院処方を含む)
※確実な送付を心掛けておりますが、万一ご通知が遅れた場合にはご容赦ください。
※ご案内状の送付を希望されない場合は、病診連携室までお申し出ください。

想うこと



昨年は新気象用語ともなった「猛暑日」が続き、記録的な暑さの厳しい夏でした。

今夏はと言えば、梅雨明け宣言が出されぬうちの猛暑日到来ということで酷暑が予測され、更に加えて原発事故による電力の供給不安があり「想定外暑日」などという新造語が生まれるのではないかと危惧しています。

このような状況下、7 月 1 日より節電に向けての本格的な取組み・対策が法的規制を伴ってスタートしました。春先の計画停電時とは比べものにならない厳しい対応を求められることは避けられません。

病院が引き続き患者様に安全かつ安心な医療を提供し続けるために皆様方の尚一層のご協力をお願い致します。
事務長 久野久夫